

平成29年度年4月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講座	言語情報論
専門科目1	言語学

【解答はすべて解答用紙に記入すること】

- D) ある言語に下にあげるような語群があつて、それぞれ意味が異なるとする。この語群だけから考えて、この言語で相補分布をしている母音の組と子音の組をそれぞれ1つずつあげ、それらが1つの音素に属すると考えるのが適切かどうかをそれぞれについて述べなさい。ただし、語群はIPAによって表記されているとする。

語群 : pat, kut, rafa, regu, pamp, hump, pel, tebel, siba, fabir, paf

- II) 次の語群から、1) どのような共通語幹を想定できるか、2) このような形態法をなんというか？

katab 'he wrote'
ka·tib 'writing (person)'
kita·b 'book'
maka·tib 'places for writing'
maktab 'place for writing'

- III) 「私の娘は男です。」という文が成立する条件について、言語学的な観点から論じなさい。

- IV) 次の用語の中から4つを選び、具体例を挙げながら説明しなさい。

超分節素 (suprasegmentals), 迷惑の受身 (passive of adversity),
非対格動詞 (unaccusative verbs), 談話分析 (discourse analysis), 省略 (ellipsis),
両唇音 (bilabials), 再構 (reconstruction), 認知言語学 (cognitive linguistics)

以上